

平成 25 年 2 月 24 日

シーニックバイウェイ北海道
推進協議会

会長 高向 巖 殿

シーニックバイウェイ北海道
ルート審査委員会
委員長 小林 英嗣

シーニックバイウェイ北海道の推進に関する意見について（案）

シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、要綱第十一条第四項に基づき、下記の通り意見を提出する。

記

シーニックバイウェイ北海道の取組は、平成 15 年の試行から 10 年が経過した。この間、経済危機や環境問題といった社会情勢の大きな変化の中でも、しっかりと地域に根ざした取組が続けられていることに、敬意を表したい。

10 年と言う一区切りの中で、今後も、このシーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、地域の資源を発見・活用し、有形・無形の「新しい価値」を生み出して行くことを、今後の方向性として明確に置くべき。

これまで培ったノウハウの次世代や新たな参加者への継承、取組の中で収益をあげるといった視点も継続性を高めるために重要となる。

一方、シーニックバイウェイ北海道の原点とも言える、北海道の美しい「景観」を磨く・生かす取組を、地域と行政が一体となって進め、地域の中でのシーニックバイウェイ北海道の存在価値を高めて頂きたい。